

平成25年5月9日

各位

会社名           DIC 株式会社  
代表者名        代表取締役社長執行役員 中西 義之  
                  (コード番号 4631)  
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 江頭 淳  
                  (TEL 03-6733-3033)

## 中期経営計画「DIC105」について

当社グループは、2013～2015年度を対象とする中期経営計画「DIC105」を別紙の通り策定致しましたので、お知らせ致します。

当中期経営計画の第1年目となる2013年は、当社創業105年目となることから、新たな飛躍を期して当計画を「DIC105」と致しました。

「DIC105」では、6年後、すなわち2018年の「ありたい姿」に向かう最初の3年間の経営計画として、重点戦略に次の3つを掲げました。

- ・ 欧米インキ事業再構築  
    欧米の生産能力最適化を軸とする大胆な合理化を断行し、インキ事業がコア事業であり続けるための体質改善を行います。
- ・ 成長牽引事業の拡大  
    TFT 液晶、カラーフィルター用顔料、PPS を重点3事業と捉え、経営資源を集中していきます。
- ・ 次世代事業の創出  
    “HYBRID CHEMICALS” をキーワードに当社の得意とする有機材料技術と無機材料技術を組み合わせて、新たな価値の創造を目指します。

2018年を見据えて当社グループは、総力を挙げて当計画に取り組んで参ります。

以上

# ▶ DIC105

## 2013-2015 中期経営計画

2013年 5月

DIC株式会社

STEP BEYOND

### トップメッセージ

**DIC105**は、私たちが描いた6年後、すなわち2018年の“ありたい姿”に向かう最初の3年間の経営計画です  
私たちは、“STEP BEYOND”― 次代を見据え、果敢に踏み出す ― をスローガンに、将来を見据えた「事業ドメイン」に  
経営資源を集中してまいります

**DIC105**では、重点戦略として次の3つを掲げています

― **欧米インキ事業再構築** ―

欧米の生産能力最適化を軸とする大胆な合理化を断行し、コア事業であり続けるための体質改善を行います

― **成長牽引事業の拡大** ―

TFT液晶、カラーフィルター用顔料、PPSを重点3事業と捉え、経営資源を集中していきます

― **次世代事業の創出** ―

“HYBRID CHEMICALS”をキーワードに当社の得意とする有機材料技術と無機材料を組み合わせ、  
新たな価値の創造を目指します

2018年を見据え、今私たちは果敢に踏み出します

# “STEP BEYOND”

## 資料構成



本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる意味における勧誘行為を意図したものではありません。

将来の計画値は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものです。実際の売上高および利益は、記載している計画値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、将来計画の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にて行いますようお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じうるいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

■ 業績推移	.....	3
前中期経営計画の業績推移と総括		4
■ 基本方針	.....	5
基本方針と重点戦略		6
事業ドメインに経営資源を集中		7
■ 重点戦略	.....	8
・ 欧米インキ(サンケミカル)事業再構築		9
・ 成長牽引事業の拡大		10
・ 次世代事業の創出		11
■ 数値計画	.....	12
・ 数値計画		13
■ セグメント戦略	.....	14
・ セグメントの長期ビジョン		15
・ セグメント別収支計画		16
・ プリンティングインキ		17
・ ファインケミカル		18
・ ポリマ		19
・ アプリケーションマテリアルズ		20
■ キャッシュフローマネジメント	.....	21
・ 成長への投資と財務バランスの考え方		22
■ 経営インフラ	.....	23
・ 経営インフラの整備		24
・ ファイナンス、IT		25
・ ヒューマンリソースマネジメント、R&D		26
■ 補足資料	.....	27
・ DICの狙う市場		28
・ DICのコア製品		29
・ コア製品の定義と主要品目		30
・ 新しいセグメントの定義と構成製品本部		31
・ コア製品とセグメントの関係		32
・ 計画の前提条件		33



業績推移

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 前中期経営計画の業績推移と総括

### 業績推移

(単位：億円)

	2010年実績	2011年実績	2012年実績
売上高	7,790	7,343	7,038
営業利益	372	350	385
営業利益率	4.8%	4.8%	5.5%
経常利益	317	308	351
当期純利益	158	182	191
有利子負債	3,376	3,285	3,156
純資産	1,304	1,245	1,607
D/レシオ*	72%	73%	66%

### 総括

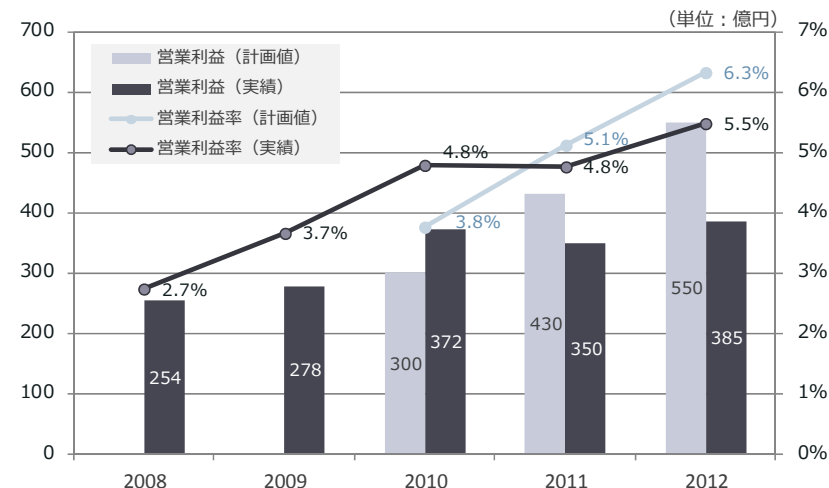
#### 成果

- 営業利益率向上 (2008年 2.7% ⇒ 2012年 5.5%)
- 国内インキ事業の収益力改善
- 液晶材料、顔料、PPS等成長牽引事業の育成
- 有利子負債の着実な削減

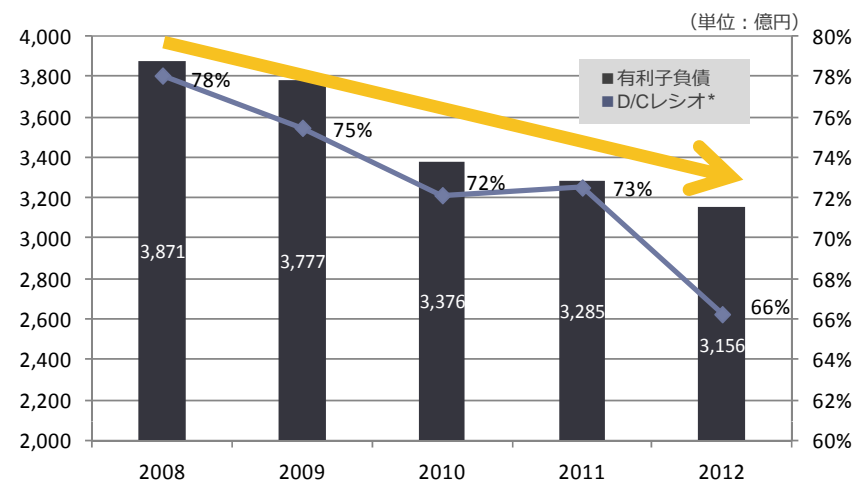
#### 残された課題

- 営業利益額の積上げ
- 欧米出版用インキの生産体制の再構築
- 川下事業のポートフォリオ見直し
- 次世代事業の構築・展開

### 営業利益率の向上



### 有利子負債の着実な削減



\* D/レシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)



基本方針

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 基本方針と重点戦略

### 基本方針

## 将来を見据えた「事業ドメイン」に経営資源を集中

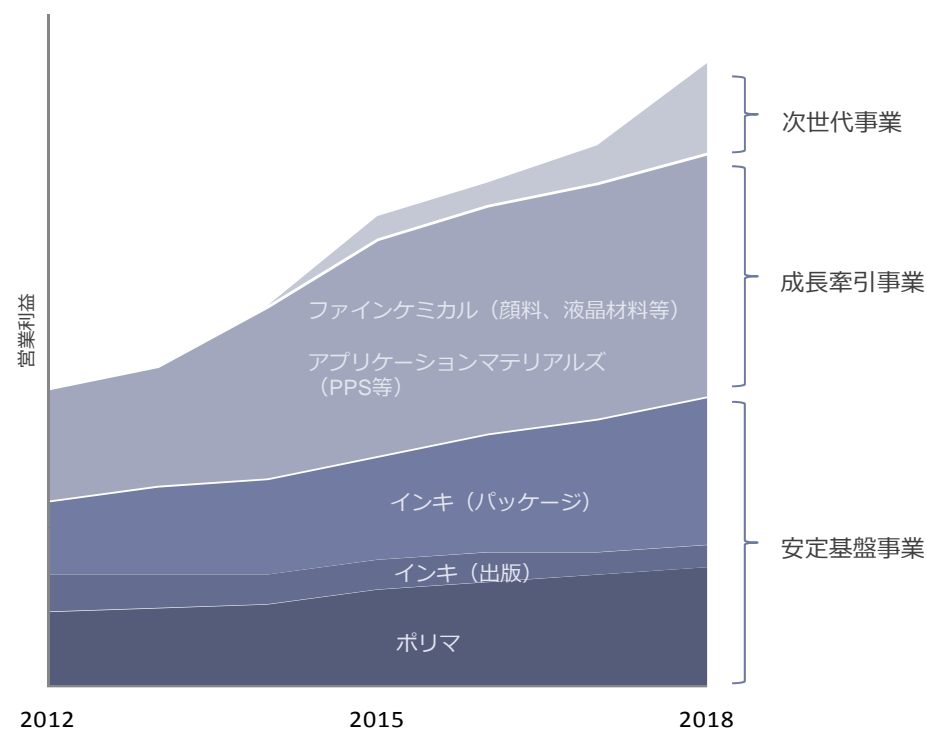
### 重点戦略

欧米インキ事業再構築

成長牽引事業の拡大

次世代事業の創出

### 成長イメージ



# “STEP BEYOND”

— 次代を見据え、果敢に踏み出す —



基本方針 ▶ **事業ドメインに経営資源を集中**

**DICが定義する事業ドメイン**

DICならではの**コアバリュー\***を活かす「狙う市場」「コア製品」「基盤技術」の組合せ



\*コアバリュー : 消費者・ブランドオーナーに訴求する価値  
 \*\*狙う市場 : 補足資料P28参照  
 \*\*\*コア製品 : ユーザーにもたらずコアバリューに基づく事業ドメイン上の製品分類であり、セグメント分類とは異なる。(詳細は補足資料P30参照)

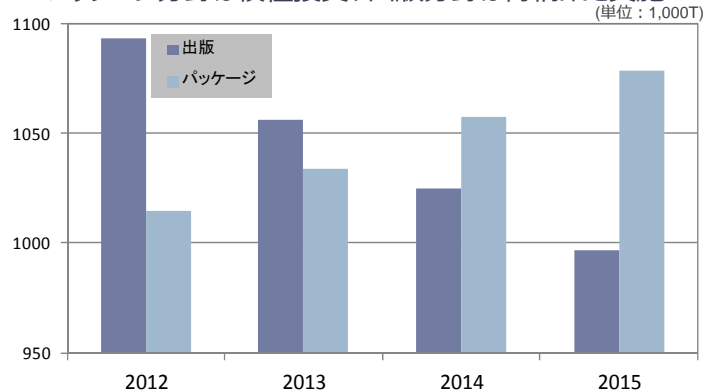


重点戰略

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 分野別欧米市場動向

- 出版分野の需要は今後も減少し、パッケージは成長・拡大  
⇒パッケージ分野は積極投資、出版分野は再構築を実施



※出版インキの市場縮小：3か年で15%、パッケージインキ拡大：3か年で6%

## 出版インキ事業再生の施策

【生産能力削減】 出版用インキマザープラント稼働率64%⇒87% (2015)

- 大規模拠点閉鎖を含む生産統廃合
  - 一部パッケージ工場への転換
- 一時費用：167億円  
(内設備除却66億円)

【コスト削減】 売上高販管費比率を削減17%⇒15%(2018)及び原料コスト削減

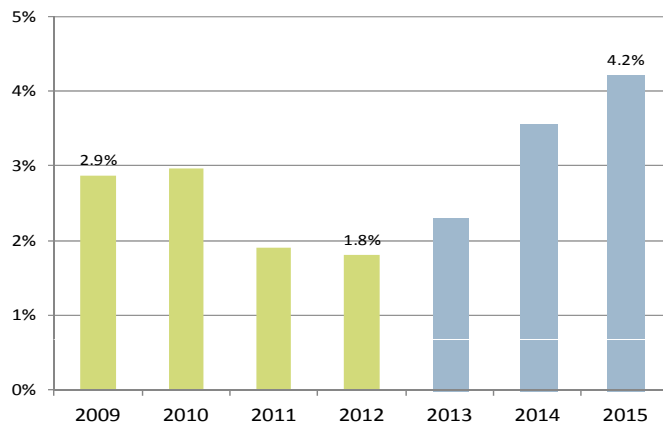
- パッケージ分野を含めた販売再編
- グローバル購買の加速

【R&D戦略】

- DIC本体との研究開発機能統合
- 新戦略製品の開発・展開（環境調和製品）

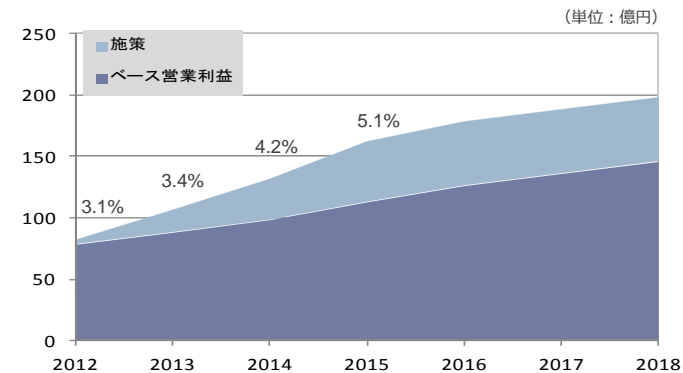
## 欧米印刷インキ（出版+パッケージ）営業利益率推移

- 施策の効果：米州・欧州の営業利益率を4.2%に引き上げ



## サンケミカル（インキ・顔料等全体）営業利益・営業利益率推移

- 施策の効果（～2015）：  
再構築により累計で100億円の営業利益改善を計画  
サンケミカル全体で営業利益率を3.1%から5.1%に改善



## 重点3大事業

### TFT液晶事業

#### <目標・重点施策>

- 売上規模  
2015年度 320億円、2018年度 400億円  
(IPSは2013年度中に販売開始)
- 市場シェア  
2015年度で15%、2018年度で18%  
(2012年度のシェアは8%程度)
- ユーザー数は2015年度に倍増
- 製品タイプ拡充 (VA+IPS等)

### カラーフィルター用有機顔料事業

#### <目標・重点施策>

- 売上規模  
2015年度 ブルー + グリーンで64億円
- グリーン顔料
  - ・ デファクトスタンダードの確立
  - ・ 韓国、台湾、中国でのシェア増大
- ブルー顔料
  - ・ 改良品で継続的にシェア拡大
  - ・ 高輝度・高コントラスト品の市場投入

### PPS事業

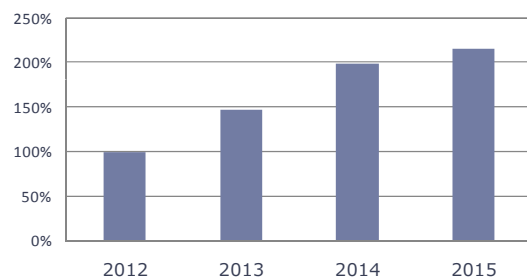
#### <目標・重点施策>

- 市場シェア拡大  
2015年度までに**25%→30%へ**
- 新規設備投資による能力増強
  - ・ PPSコンパウンド：2.7万トン → 3.3万トン  
(オーストリア・マレーシア)
  - ・ ニートレジジン：1.3万トン→1.9万トン (鹿島工場)
- 用途拡大
  - ・ 自動車用電子スロットル等のモジュール化
  - ・ HV、EV限定部品 (例：インシュレータ)

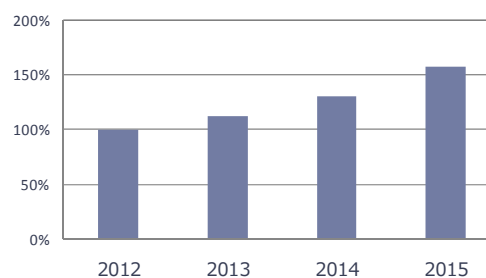
## 売上高成長率

(2012年度の売上高を100とする指数)

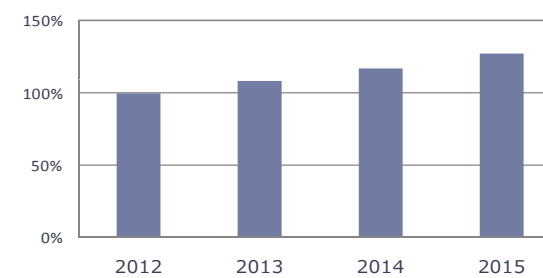
TFT液晶売上高伸張率



CF用顔料売上高伸張率



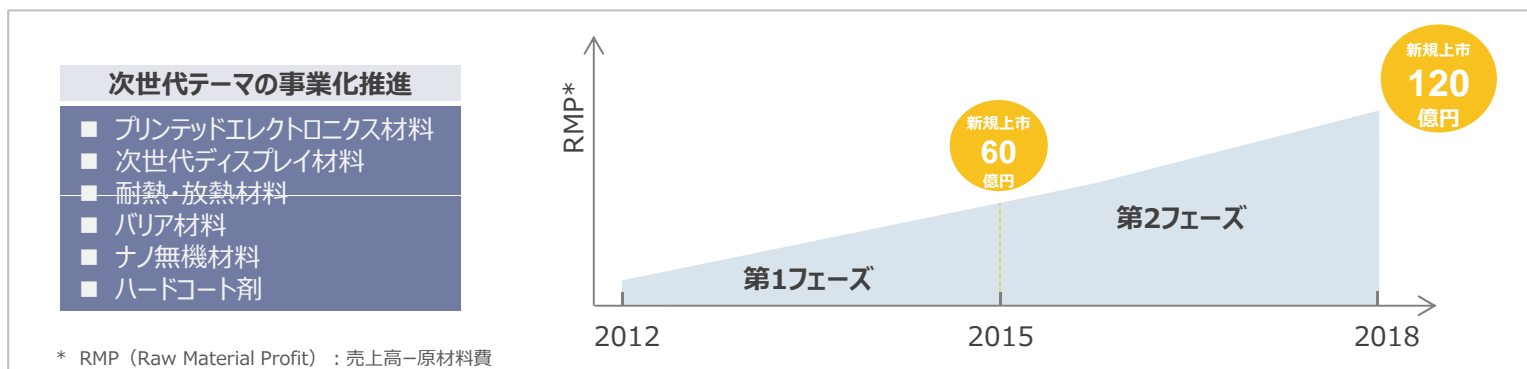
PPS売上高伸張率



## HYBRID CHEMICALSの実績化に向けた先行開発に集中

### HYBRID CHEMICALSの定義：

DICの基盤技術と無機材料を組み合わせることで既存の材料を超える  
高度な機能あるいは複数の機能を持たせる技術領域及びその製品群



## HYBRID CHEMICALS (例)

エレクトロニクス

- **プラスチック用高耐久コート剤**  
(高分子設計+無機材料)  
有機樹脂の中にガラス成分を取り込むことで  
高耐候性や耐腐食性を実現

パッケージ

- **ガスバリア接着剤**  
(高分子設計+分散+無機材料)  
ガスバリア性能の高い樹脂と無機フィラーを  
組み合わせて機能を高度化

エレクトロニクス

- **ナノ金属インキ**  
(分散+無機材料)  
ナノサイズの銀に特殊な表面処理を施す事で  
低温焼成と高電導性を両立



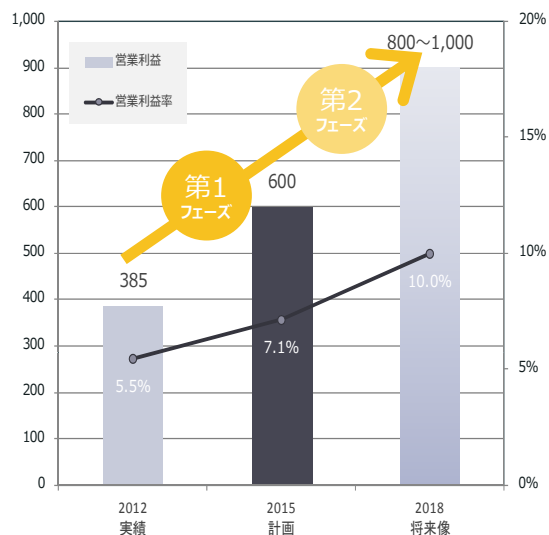
数值計画

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 数値計画

2015年度に過去最高益600億円を実現

### 2018年の800億円レベルの将来像を見据えた第1フェーズとしての位置づけ



(単位：億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画*	2014年度 計画*	2015年度 計画*	2015年度 成長率 (対2012年度比)
売上高	7,038	8,000	8,100	8,400	119%
営業利益	385	450	500	600	156%
営業利益率	5.5%	5.6%	6.2%	7.1%	+ 1.7%
経常利益	351	400	430	530	151%
当期純利益	191	210	245	320	168%
営業キャッシュフロー	414	445	488	563	136%
有利子負債	3,156	3,050	3,000	2,900	92%
純資産	1,607	1,670	1,860	2,120	132%
D/クレシオ **	66%	65%	62%	58%	- 8.5%

計画の前提条件については補足資料P33参照

\*当社グループは決算期を統一するために、2013年度に国内会社の決算期を12月に変更し9か月決算とする予定である。

ただし、上記数値計画及び本資料においては、比較可能性を保つために国内会社12か月決算ベースの数値を記載している。

なお、決算期変更を加味した計画は以下の通り。

2013年度：売上高7,100億円、営業利益390億円、経常利益350億円、当期純利益180億円、営業キャッシュフロー230億円、有利子負債3,200億円、純資産1,640億円、D/クレシオ66%

2014年度：有利子負債3,080億円、純資産1,830億円、D/クレシオ63%

2015年度：有利子負債2,950億円、純資産2,090億円、D/クレシオ59%

\*\*D/クレシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)



セグメント戦略

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

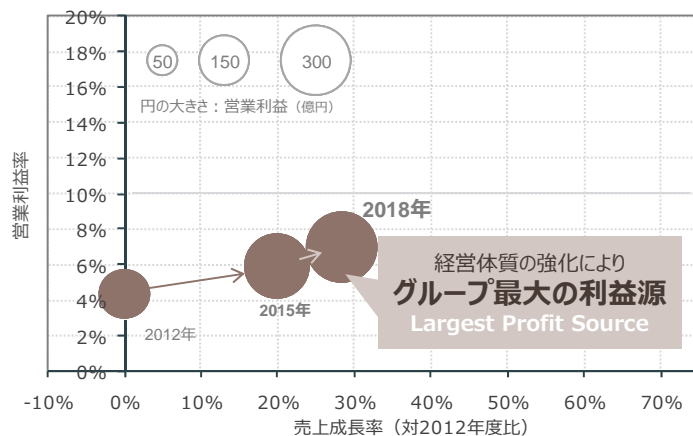


# セグメントの長期ビジョン

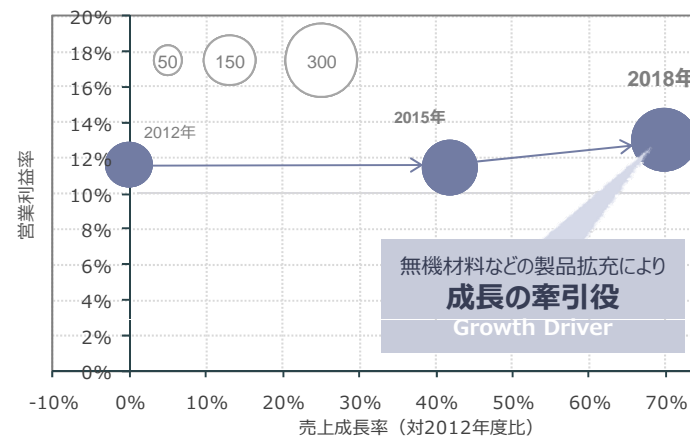
## 2018年の「ありたい姿」を定め、位置づけと役割に応じた施策を実行

各セグメントの事業特性を3軸で評価：売上成長率、営業利益率、営業利益

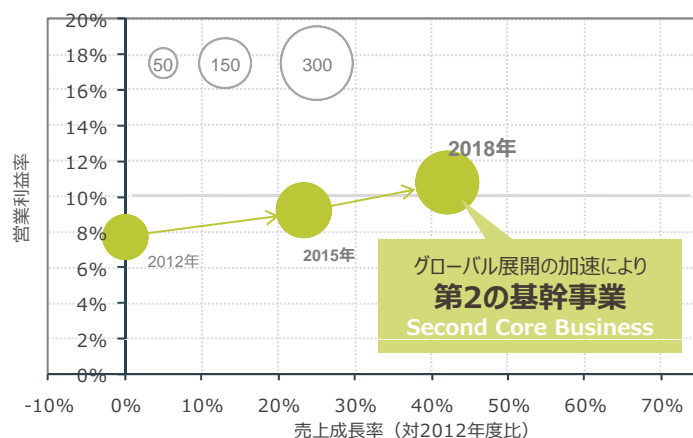
### プリンティングインキ



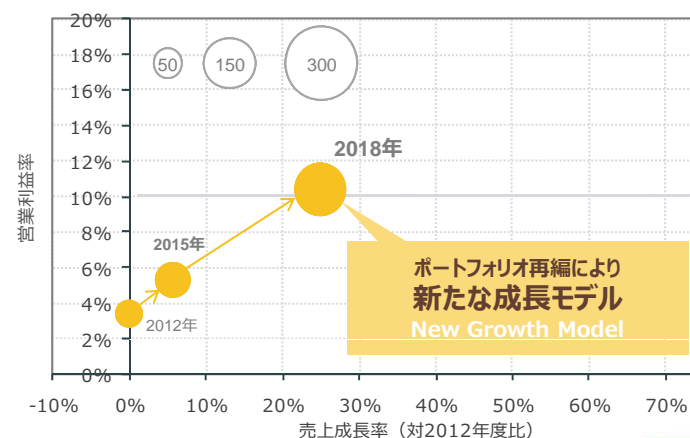
### ファインケミカル



### ポリマ



### アプリケーションマテリアルズ



## 長期ビジョンを見据えた収支計画

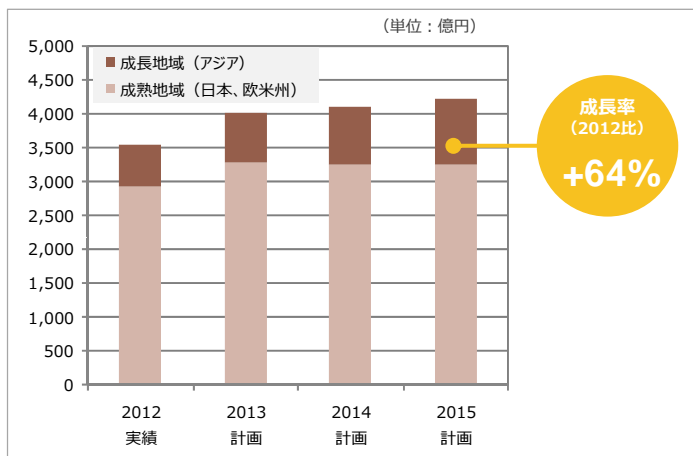
(単位：億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画	2015年度 成長率 (対2012年度比)
<b>売上高</b>					
プリンティングインキ	3,530	4,022	4,100	4,230	120%
ファインケミカル	1,075	1,394	1,460	1,520	141%
ポリマ	1,538	1,742	1,800	1,900	124%
アプリケーションマテリアルズ	1,249	1,310	1,260	1,320	106%
連結・その他	-354	-468	-520	-570	-
連結合計	7,038	8,000	8,100	8,400	119%
<b>営業利益</b>					
プリンティングインキ	153	187	220	250	163%
ファインケミカル	125	126	145	175	140%
ポリマ	118	146	153	175	148%
アプリケーションマテリアルズ	42	48	52	70	167%
その他	-53	-57	-70	-70	-
連結合計	385	450	500	600	156%

事業方針

出版からパッケージへ、成熟地域から成長地域へシフトし、グローバルプレイヤーとしての収益基盤を回復

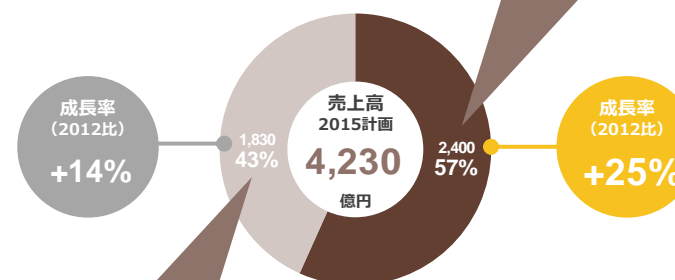
売上高計画



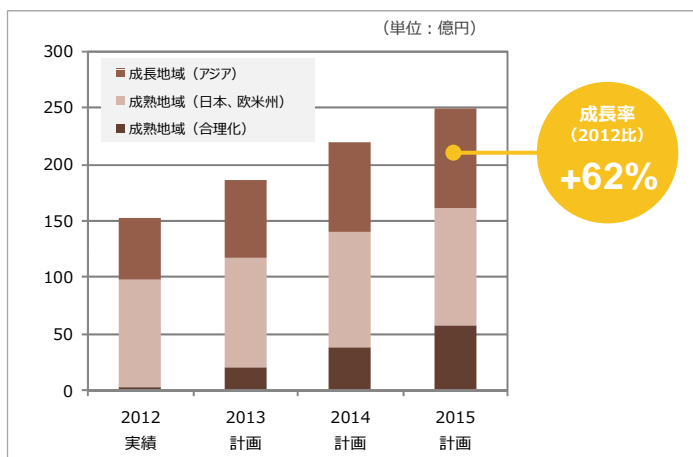
パッケージ用インキ・接着剤

コア製品

- アジア地域の生産体制を強化し、現地需要拡大を確実に獲得
- 環境対応、鮮度維持など機能向上に寄与する差別化製品の投入によるシェア拡大・収益性向上



営業利益計画



出版用インキ

- 需要減少、サプライチェーン再編に対応した事業運営規模のライトサイジング化
- 積極的な価格政策、トータルコスト削減を実現する戦略製品の投入、継続的な原価低減により、低成長下での収益力向上

地域戦略

日本

- パッケージ用リキッドインキの戦略新製品投入
- 出版用インキの生産効率化

アジア

- ローカル生産体制への積極投資 (中国、インド、ベトナム)
- 今後の需要増が期待される環境対応リキッドインキ製品強化

欧米州

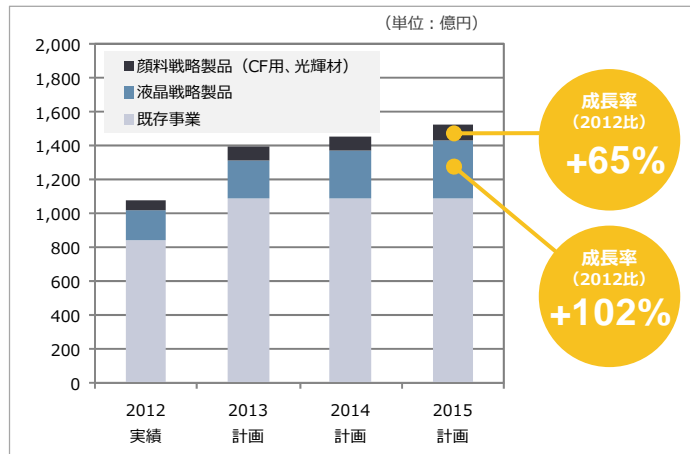
- 強固な販売網を通じたパッケージ用ラミネート接着剤の事業拡大
- ローコストオペレーションの徹底 (生産・営業・管理)

# 無機材料などの製品拡充により成長の牽引役

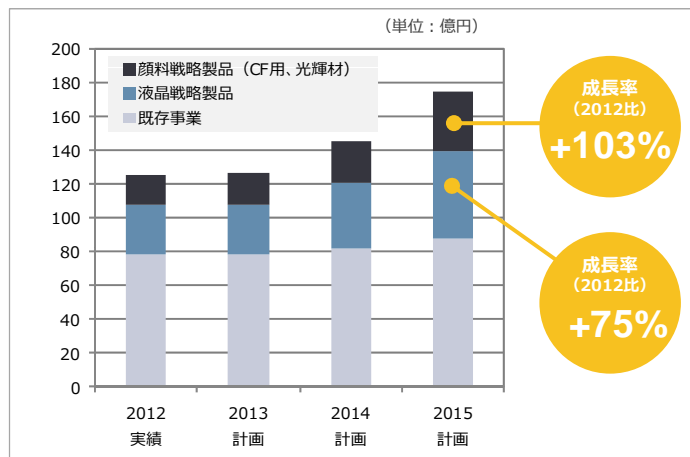
事業方針

「オプトロニクス材料\*1」に経営資源を積極投入することで高付加価値を追求する一方、ライフサイクルに応じて開発ポートフォリオを分散

売上高計画



営業利益計画



顔料

コア製品

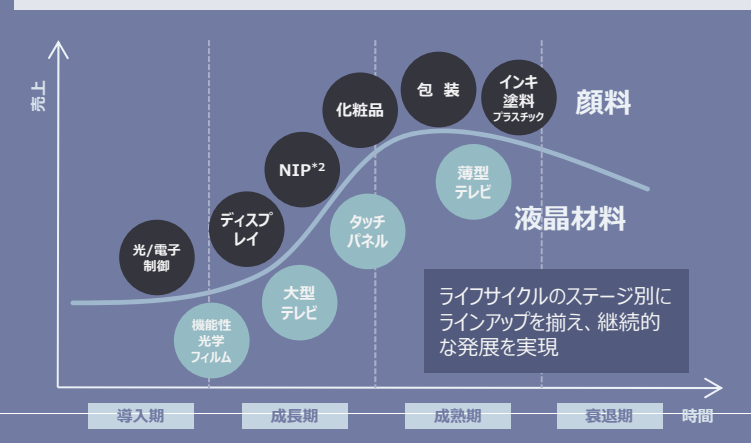
- カラーフィルター用顔料のラインアップ拡充 (ブルー等)
- 2012年度に買収したアルミ顔料事業をベースに、有機+無機のハイブリッド製品を投入
- 汎用、加工顔料等、既存製品のグローバルサプライチェーン化

液晶材料

コア製品

- 少数競争環境の中でシェアアップに向けた開発・販売体制の強化
- スマートフォン、タブレットなどの成長分野向け新製品の拡大
- アジア市場攻略に向けた拠点拡充

用途別プロダクトライフサイクル



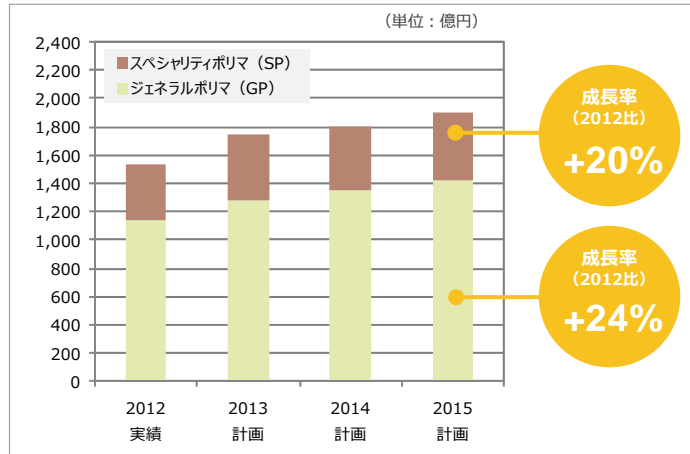
\*1 オプトロニクス材料：光学、色彩特性を有する製品（顔料、液晶材料等）

\*2 NIP：ノンインパクトプリンティング

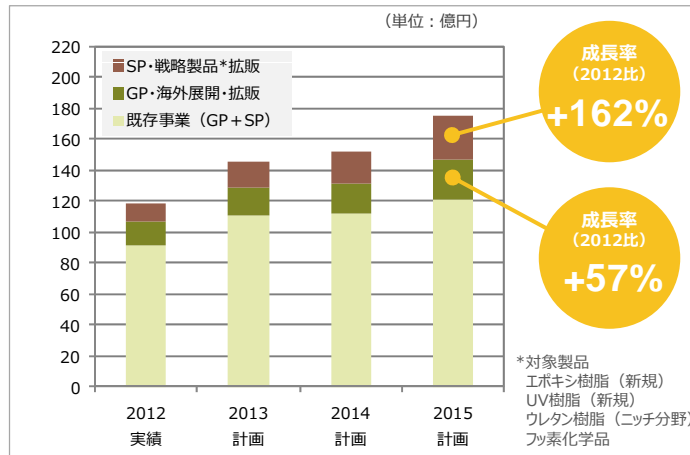
事業方針

グローバルにスケールメリットを追求するジェネラルポリマと、ニッチマーケットで付加価値率を高めるスペシャルティポリマの二面展開で拡大

売上高計画



営業利益計画



ジェネラルポリマ

コア製品

■ グローバル顧客の対応体制強化

2018年度、海外比率50%に向けて、需要シフトが顕著なアクリル樹脂から着手

■ 海外移管に伴う国内生産最適化の推進

国内工場は稼働率を重視し生産能力を見直す

スペシャルティポリマ

コア製品

■ 付加価値のある製品に注力し利益率を追求

<戦略製品の拡販>

- ・高耐熱特殊エポキシ樹脂
- ・ハロゲンフリーエポキシ硬化剤
- ・精密合成フッ素

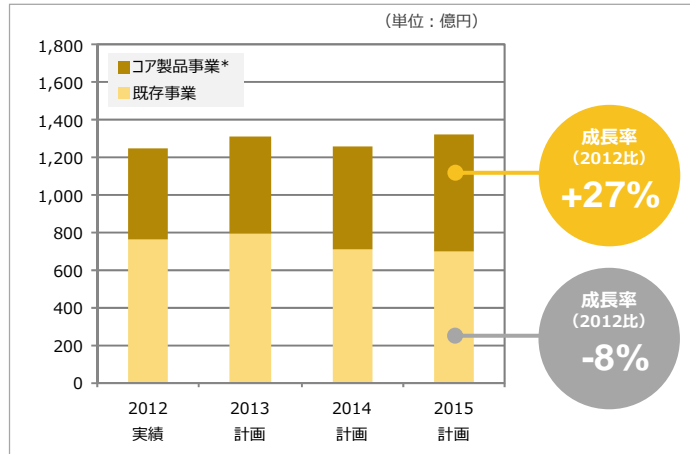
ビジネス展開モデル

	ジェネラルポリマ	スペシャルティポリマ
生産	コストダウン・規模の経済・海外移管	最適プロセス設計・ブラックボックス化
技術	技術サービス・海外移管重視 ローカル化 既存 90% 新規 10%	高付加価値開発重視 中央集約化 既存 60% 新規 40%
営業	効率化・大手顧客集中 海外マーケティング指向	カスタマーオリエンテッド型

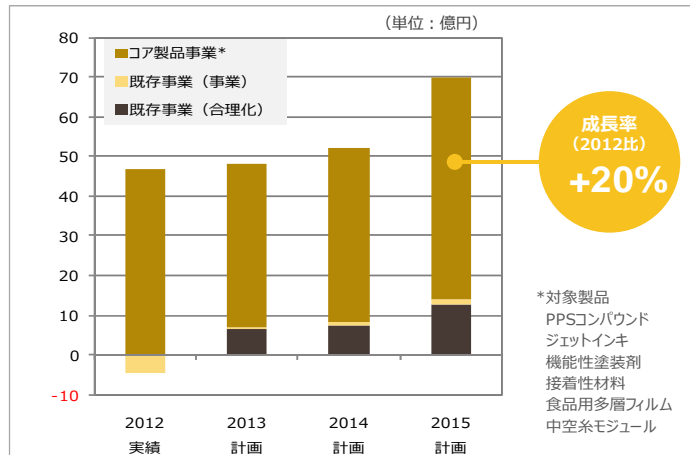
事業方針

川下事業の戦略的位置づけを「バリューチェーン強化」とし、強みの発揮できるコンパウンド事業の拡大に注力

売上高計画



営業利益計画



コア製品の重点拡大

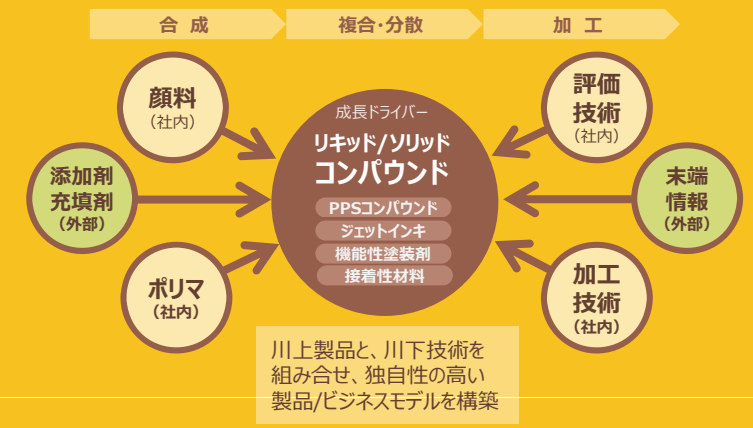
コア製品

- PPSコンパウンドは世界シェアを25%から30%に拡大  
多様な機能を付与する独自技術とモジュール化により製品価値を高め、自動車用途を中心にグローバル展開を加速
- ジェットインキは、オフィス用途を中心に主顧客対応強化とインキタイプの拡充により需要を確実に取り込み
- 光学・エレクトロニクス用途に、機能性塗装剤、接着性材料を積極展開

戦略見直し・事業最適化・合理化

- 加工事業は、川上製品強化の技術支援・市場開拓に特化
- 建材製品・加飾材料は注力市場をシフトし収益改善

バリューチェーンの強みを結集した成長モデル



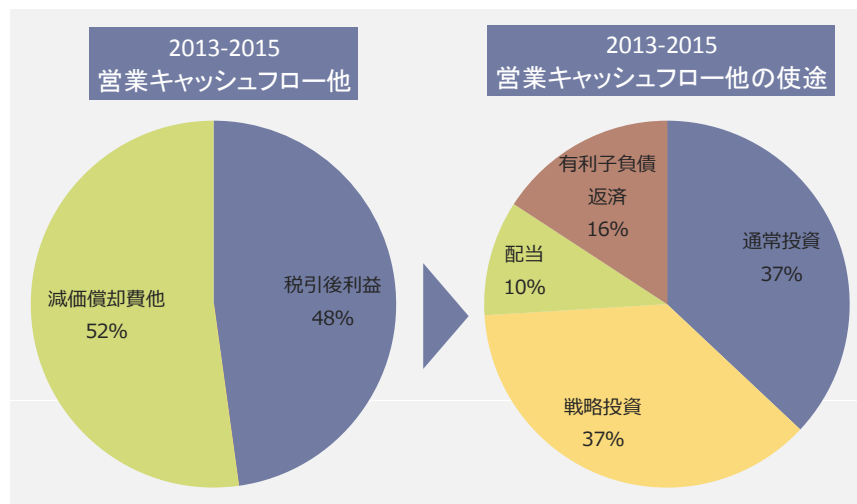


キャッシュフローマネジメント

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## キャッシュフローマネジメント 成長への投資と財務バランスの考え方

財務バランスの目標値であるD/CLレシオ60%以下を達成するとともに、継続的成長のために投資機会を追求する



### キャッシュフロー配分の計画

通常投資	600億円	更新・保全等、長期事業計画に基づき実施
戦略投資	600億円	将来像に向けた成長への投資を実行
配当	165億円	安定的な株主還元を継続
有利子負債返済	256億円	計画的削減を継続

### 戦略投資の基本方針

事業ドメインに基づき、狙う市場・コア製品・基盤技術において戦略合致性の高い投資案件に対し、積極的にM&Aや生産設備、技術に対する投資を実施

また、第2フェーズ（2016-2018）に向け、次世代テーマの事業化に向けた先行投資を実施

### 主要な投資分野

- ・アジア等成長地域におけるコア製品の製造・販売拠点
- ・リキッドインキ、リキッドインキ用樹脂
- ・液晶材料
- ・カラーフィルター用顔料
- ・PPS
- ・パッケージ用ラミネート接着剤
- ・無機材料関連、など



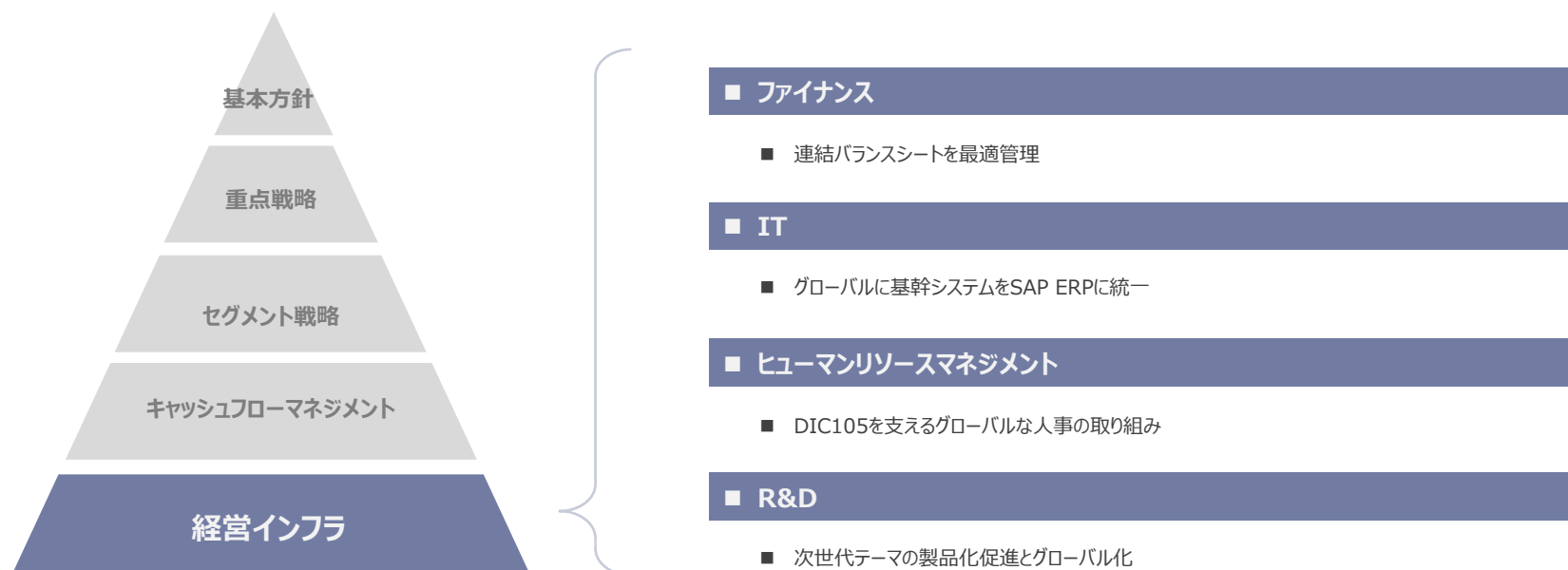


経営インフラ

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 経営インフラの整備

事業戦略を実行する基盤となる制度や仕組みをグローバルレベルで整備



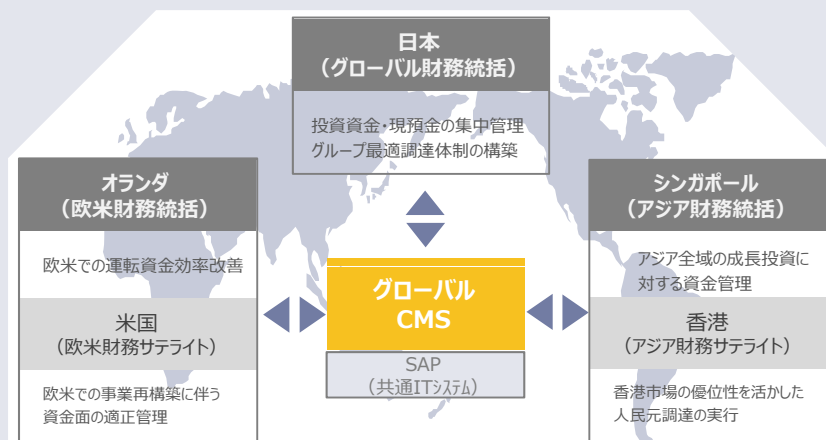
連結バランスシートを最適管理

D/クレシオ50%達成に向けて、2015年度末に60%以下に改善

- 2018年度D/クレシオ50%達成を最終財務目標に設定
- グローバルキャッシュマネジメントシステム（CMS）を導入し、財務統括体制を強化

グローバル財務統括体制及びグローバルCMSの概念図

- グローバルCFO（日本）の下に、リージョナルCFO（アジア・欧米）を配置



効果

- グループ資金を一元管理
- 地域における資金効率のモニタリング・改善計画の実行
- 財務統括主導で機動的に投資資金をコントロール
- 余剰現預金圧縮 100億円
- 運転資金圧縮 100億円
- 連結バランスシートへの為替影響の軽減

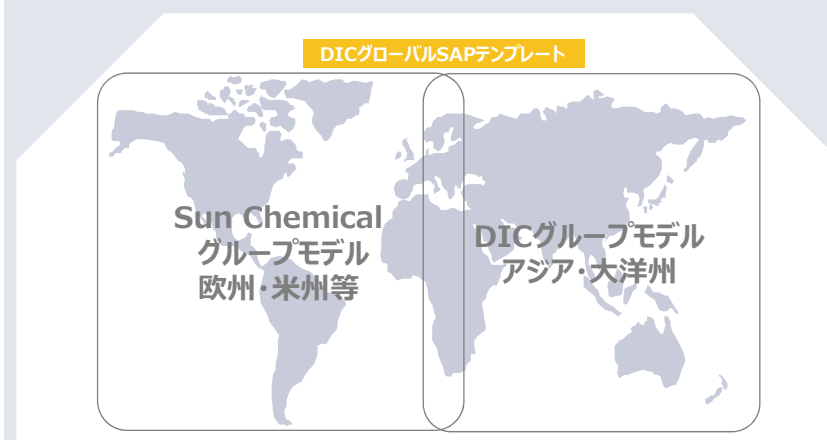
グローバルに基幹システムをSAP ERPに統一

2014年から全世界で新基幹システムを稼働開始

- 日本を含むアジア・大洋州においてSAP ERPを2011年から導入開始、2014年までに完了予定
- 欧州・米州等において、2005年から2012年までにSAP ERPを導入完了

DICグローバルSAPテンプレート

- アジア・大洋州にはDICグループモデル、欧州・米州等にはSun Chemicalグループモデルを導入



効果

- サーバ・マスタの共有による経営データのリアルタイム一元管理
- 業務フローの標準化・簡略化
- 意思決定の迅速化
- 統合による運営・維持コストの低減

DIC105を支えるグローバルな人事の取り組み

地域最適からグローバル最適に向けた基盤整備

- 人材、ポスト、報酬を見える化することで、グループ全体の多様な人材を掘り起こす
- グレード、報酬、評価の考え方を統一することで公正な処遇を実現する
- 次世代人材を育成することで、更なる事業拡大に備える

3つの分野で施策を遂行

■ 報酬・福利厚生

- ・ 市場競争力のある報酬水準を確保
- ・ 公正な評価を実現する統一フレームワークを構築

■ 人材配置

- ・ 次世代リーダーの人材データベースを構築
- ・ 多様な人材をキーポジションへ登用

■ 研修・人材開発

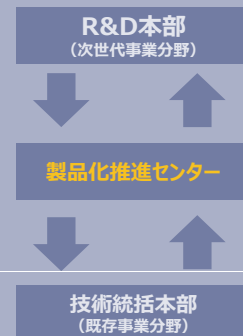
- ・ 階層別の人材開発プログラムを構築
- ・ 次世代リーダー育成を目的とした国際異動を促進

次世代テーマの製品化促進とグローバル化

■ 製品化

製品化推進センターの新設

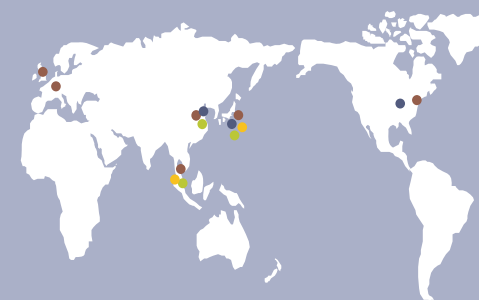
重要テーマのプロジェクト管理により、次世代テーマ製品化のスピードアップ



■ グローバル技術拠点

グローバル体制

グローバル・リージョナル・ローカルのニーズに対応すべく地域毎に拠点を設置



- プリンティングインキ
- ファインケミカル
- ポリマ
- アプリケーションマテリアルズ



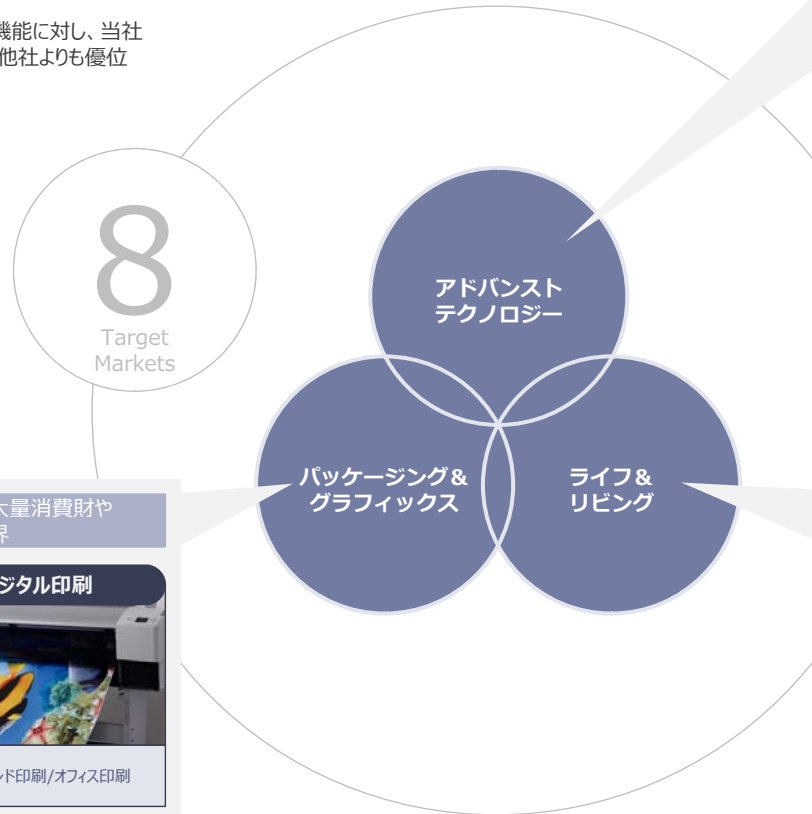
補足資料

STEP BEYOND  
STEP BEYOND

## 主要業界別の営業体制により売上高・RMP\*を拡大


「8つの市場」を以下の基準で設定：

- 安定した成長を見込む事ができる
- 消費者やブランドオーナーが求める機能に対し、当社の経営資源（基盤技術）により、他社よりも優れた解決策を提供する事ができる



先進技術開発主導で事業展開を図る業界

**ディスプレイ**



LCD/タッチパネル

**エレクトロニクス**



半導体/プリント基板/カーエレクトロニクス

**エネルギー**



リチウムイオンバッテリー/パワー半導体/PV

アドバンスドテクノロジー

(億円)	2012実績	2015計画
売上高	1,000	1,600
RMP*	500	670

**RMP成長率 +34%**

消費者の日常生活の中で利用される大量消費財やその表示物を提供する業界

**パッケージ**



食品/化粧品/日用品

**デジタル印刷**



オンデマンド印刷/オフィス印刷

パッケージング&グラフィックス

(億円)	2012実績	2015計画
売上高	2,500	2,900
RMP*	930	1,050

**RMP成長率 +13%**

消費者の生活環境を形作る構築物や耐久消費財を提供する業界

**生活環境**



自動車/衣料/家電/インテリア/装飾品/文具

**コーティング**



家電/自動車/建材

**インフラ建設**



道路/トンネル/発電施設/農業施設

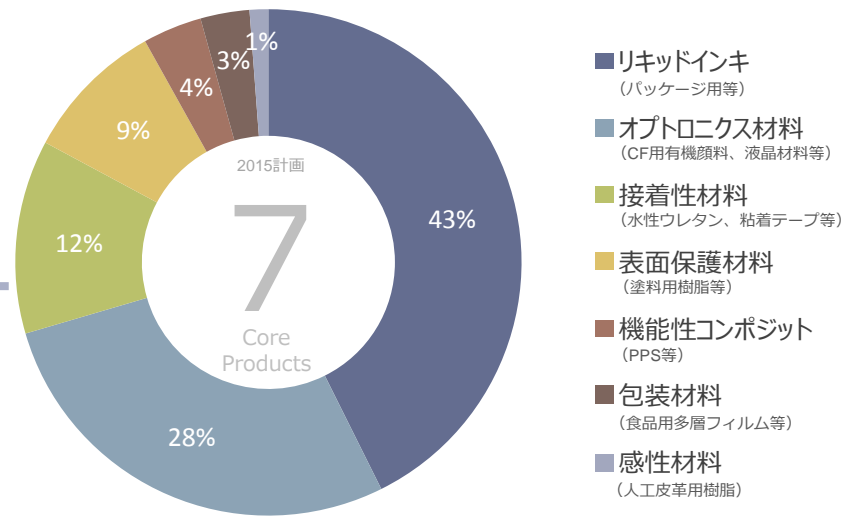
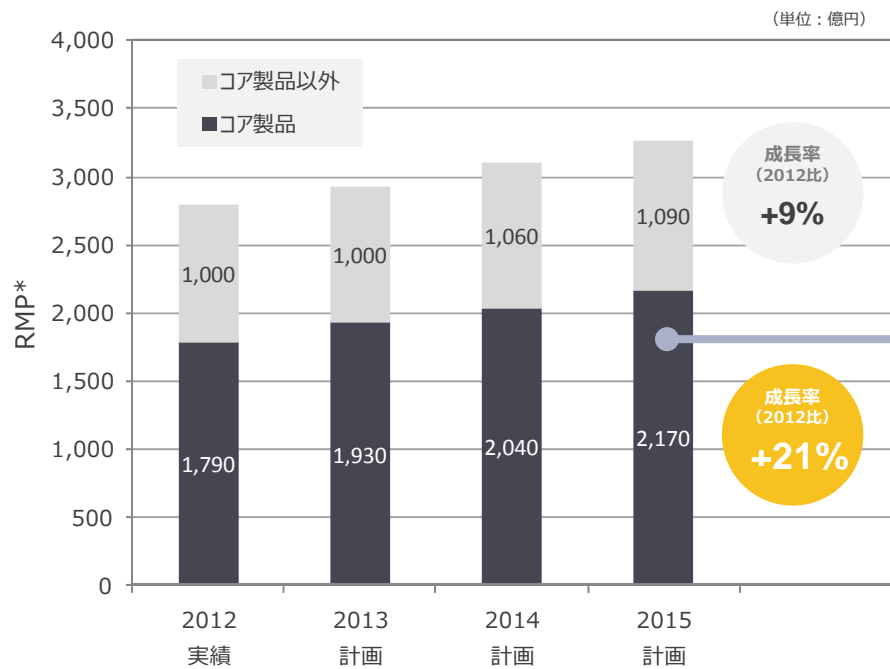
ライフ&リビング

(億円)	2012実績	2015計画
売上高	1,700	2,000
RMP*	650	780

**RMP成長率 +20%**

\* RMP (Raw Material Profit) : 売上高-原材料費

コアバリューを備える製品（コア製品）に注力



\* RMP (Raw Material Profit) : 売上高-原材料費

コア製品	提供する価値 (コアバリュー)	狙う市場	対応セグメント	取扱い製品本部
<b>リキッドインキ</b>				
パッケージ用インキ	発色、色調、解像度	パッケージ	プリンティングインキ	プリンティングインキ
ジェットインキ	発色、色調、解像度	デジタル印刷	アプリケーションマテリアルズ	リキッドコンパウンド
<b>オプトロニクス材料</b>				
液晶材料	光スイッチング、位相差、透過	ディスプレイ	ファインケミカル	ファインケミカル
顔料	発色	ディスプレイ、コーティング、デジタル印刷	ファインケミカル	ファインケミカル
光学用樹脂	透過	ディスプレイ	ポリマ	スペシャリティポリマ
光学フィルム用改質剤	位相差、複屈折	ディスプレイ	ポリマ	ジェネラルポリマ
光学用コンパウンド	位相差、反射	エレクトロニクス	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
樹脂着色マスターバッチ	発色	生活環境	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
<b>接着性材料</b>				
電材・複合材用樹脂	封止、耐熱	エレクトロニクス	ポリマ	スペシャリティポリマ
PV用接着剤	接着、耐候性、加工性	エネルギー	アプリケーションマテリアルズ	リキッドコンパウンド
パッケージ用接着剤	接着、バリア	パッケージ	プリンティングインキ	プリンティングインキ
水性ウレタン樹脂	接着、集束	パッケージ、生活環境	ポリマ	ジェネラルポリマ
溶剤型ウレタン樹脂	接着	インフラ建設、生活環境	ポリマ	スペシャリティポリマ
不織布用エマルジョン	接着	生活環境、エレクトロニクス	ポリマ	ジェネラルポリマ
ファイバー用樹脂	集束	生活環境	アプリケーションマテリアルズ	リキッドコンパウンド
土木・建材用樹脂	接着、封止	インフラ建設	ポリマ	ジェネラルポリマ
工業用粘着テープ	粘着、防水、軽量	エレクトロニクス	アプリケーションマテリアルズ	プロセストプロダクツ
<b>表面保護材料</b>				
塗料用樹脂	耐候、耐薬品	コーティング	ポリマ	ジェネラルポリマ
防食用塗料樹脂	耐薬品、高弾性	コーティング	ポリマ	ジェネラルポリマ
レジスト用樹脂	耐薬品	コーティング	ポリマ	ジェネラルポリマ
表面処理用樹脂	耐候、耐薬品	コーティング、生活環境	ポリマ	ジェネラルポリマ
紙用コート剤	耐候、耐水、耐薬品	生活環境	ポリマ	ジェネラルポリマ
光学フィルム用UV塗剤	高硬度、防汚、耐薬品	ディスプレイ	アプリケーションマテリアルズ	リキッドコンパウンド
フッ素系活性剤	耐水、耐薬品、防汚	ディスプレイ、エレクトロニクス	ポリマ	スペシャリティポリマ
フッ素系コート剤	防汚	コーティング、生活環境	ポリマ	スペシャリティポリマ
<b>機能性コンポジット</b>				
PPSコンパウンド	軽量、高強度、耐熱	エレクトロニクス	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
LiB、放熱用コンパウンド	軽量、高強度、耐熱、放熱	エレクトロニクス	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
中空糸膜モジュール、装置	防汚、封止、耐水	パッケージ、エレクトロニクス	アプリケーションマテリアルズ	プロセストプロダクツ
成形加工品	軽量、高強度、耐水	インフラ建設	アプリケーションマテリアルズ	プロセストプロダクツ
<b>包装材料</b>				
機能性光学材料マスターバッチ	接着、バリア	生活環境	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
食品用多層フィルム	接着、バリア	パッケージ	アプリケーションマテリアルズ	ソリッドコンパウンド
食品包装用ポリスチレン	軽量、耐熱	パッケージ	ポリマ	ジェネラルポリマ
<b>感性材料</b>				
人工皮革用樹脂	風合い、コシ、フィット感、柄	生活環境	ポリマ	スペシャリティポリマ



## 新しいセグメントの定義と構成製品本部

セグメント	プリンティングインキ *旧印刷インキ	ファインケミカル *旧NGA	ポリマ *旧合成樹脂	アプリケーションマテリアルズ *旧CS
製品本部	プリンティングインキ	ファインケミカル	ジェネラルポリマ	リキッドコンパウンド
- 主要製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>- オフセットインキ</li> <li>- グラビアインキ</li> <li>- フレキソインキ</li> <li>- 製缶塗料</li> <li>- 新聞インキ</li> <li>- 包装用接着剤</li> <li>- 印刷関連製品・材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 有機顔料</li> <li>- 液晶材料</li> <li>- アルキルフェノール</li> <li>- 金属石鹼</li> <li>- サルファケミカル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- アルキド樹脂</li> <li>- ポリエステル樹脂</li> <li>- 不飽和ポリエステル樹脂</li> <li>- 改質剤</li> <li>- 水系樹脂</li> <li>- アクリル樹脂</li> <li>- メタクリル樹脂</li> <li>- アミノ樹脂</li> <li>- フェノール樹脂</li> <li>- ポリスチレン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ジェットインキ</li> <li>- 繊維着色剤</li> <li>- 建材塗料</li> <li>- 光ディスク用保護コート剤・接着剤</li> <li>- 機能性接着剤</li> <li>- UV・EB硬化型塗装剤</li> </ul> <p>*旧NGAより移行</p>
			スペシャリティポリマ	ソリッドコンパウンド
			<ul style="list-style-type: none"> <li>- エポキシ樹脂</li> <li>- UV硬化型樹脂</li> <li>- ウレタン樹脂</li> <li>- フッ素化学品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- PPSコンパウンド</li> <li>- 機能性コンパウンド</li> <li>- 樹脂着色剤</li> <li>- 機能性光学材料</li> <li>- 多層フィルム</li> </ul>
				プロセスプロダクト
				<ul style="list-style-type: none"> <li>- SMC・加工品</li> <li>- パレット・コンテナ</li> <li>- 工業用粘着テープ</li> <li>- 印刷用粘着フィルム</li> <li>- ラベル・ステッカー</li> <li>- 特殊磁気テープ</li> <li>- 化粧板・内装建材</li> <li>- 加飾材料システム</li> <li>- 化粧紙</li> <li>- 中空糸モジュール</li> <li>- ヘルスクエア食品</li> </ul>

\*プリンティングインキ=旧印刷インキ  
 ポリマ=旧合成樹脂  
 ファインケミカル=旧ニューグラフィックアーツ (NGA) <リキッドコンパウンド除く>  
 アプリケーションマテリアルズ=旧ケミカルソリューション (CS)  
 リキッドコンパウンド⇒アプリケーションマテリアルズへ移行

補足資料 ▶ コア製品とセグメントの関係

狙う市場・マーケティング戦略

コア製品	セグメント			
	プリンティングインキ	ファインケミカル	ポリマ	アプリケーションマテリアルズ
リキッドインキ	✓			✓
オプトロニクス材料		✓	✓	✓
接着性材料	✓		✓	✓
表面保護材料			✓	✓
機能性コンポジット				✓
包装材料			✓	✓
感性材料			✓	

グローバル事業収益管理

## 為替

JPY/USD: 90  
JPY/EUR: 120

## 原料

資源価格の高騰を想定  
(原油・石油製品、金属、鉱物、農産物等)  
グローバル化の加速/変動  
(新興国の台頭、米国シェールガス革命)  
川上業界の構造変化  
(石油・石化産業などコア事業シフト・不採算事業の切り離し、業界再編→プレイヤーの減少)

## 市場動向

## ■ 出版

先進国において出版用インキは全体で年率2%程度の市場縮小を想定。  
アジア・中国においては、各々8%、5%成長を想定。

## ■ 包装

国内は人口減少にともないパッケージ消費漸減傾向。東南アジア・中国は人口増加・食文化・食品製造拠点として今後も市場拡大。脱アルミのバリアフィルムやレトルトパウチ等の日本先行のパッケージは海外でも普及を開始。

## ■ 自動車

現地生産化が鮮明になり、国内生産もスリム化が進む。コストダウン・省エネ・軽量化・脱ガソリン・独創的なデザインが大きなニーズ

## ■ エレクトロニクス

PC市場は先進国で縮小傾向、タブレットPCやスマートフォンなどの小型情報機器が市場を牽引。新興国では小型情報機器、家電必需品（冷蔵庫・洗濯機等）等の需要が旺盛。デバイスの小型化・薄型化・高密度化により、部材への耐熱・放熱・細線化などのニーズが高まる。



Color & Comfort by Chemistry